



レディース通信 第15号

2017. 2. 10

東洋レディースin静岡



いくたびも雪の深さたずねけり

正岡子規



レディース代表 落合雅子 (S. 55 短日文卒 浜松市)

日差しの明るさに春の気配を感じるようになりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

平成28年4月から1期3年間のレディース代表を大澤友子さんから引き継ぎました。何もわかりませんが、先輩会員さんに助けていただきながら活動していきたいと思います。

昨年末には富士山女子駅伝の応援に、先月28日には女性連絡会主催の講演会に行ってきましたので、ご報告いたします。

富士山女子駅伝

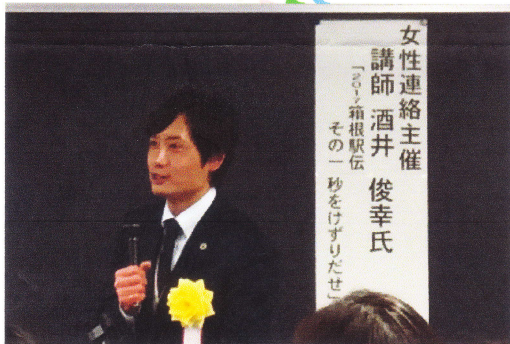
平成28年12月30日、富士山女子駅伝が行われた日は天候にも恵まれ、暖かい日でした。

10月の全日本大学女子駅伝では8位に入賞したので、今回も入賞を狙っていたようですが、惜しくも入賞は出来ませんでした。結果は10位でしたが、昨年よりは順位を上げることが出来ました。

初めての応援、選手が通過するのは一瞬ですが、大きな声を出し、自分も一緒に走っているような感じで選手と一体化した気持ちでした。

沿道の声援が、選手の頑張りにつながります。来年はもっと大勢の校友と応援できたらと思っています。皆さん、応援に行きましょう！

講演会



平成29年1月28日、女性連絡会主催の講演会が甫水会館で開催され、東洋大陸上部長距離部門監督の酒井俊幸氏が「2017 箱根駅伝 その1秒をけずりだせ」という演題で講演されました。

出雲駅伝(9位)、全日本大学駅伝(6位)では今まで駅伝を走っていない選手達も起用し、箱根駅伝に向け、経験を積ませたそうです。

箱根駅伝では、あくまでも優勝を目指して「その1秒をけずりだせ」と攻めの気持ちで走るよう夏合宿から強化してきたとのこと。その結果、下馬評を覆し、大健闘の総合2位となりました。

本番の12月後半、ノロウイルスに感染した選手がいたり、疲労骨折をした選手ありで、本当に体調管理が大変だということを知りました。いろんなハプニングを乗り越えた結果の総合2位。常に上を目指すという気持ちで、監督と選手が一丸となって頑張っている様子が伺えました。

平成28年度活動報告

- 28. 5. 22 第5回女性連絡会総会(甫水会館) 代表出席
- 5. 29 静岡県支部役員会(クーポール) 代表出席
- 7. 3 東洋大学校友会静岡県支部総会(KKRホテル熱海)
出席者の皆様に、レディース活動資金の募金に御協力いただきましたことに感謝申し上げます。
- 10. 11 レディース役員会(磐田市 会員宅)
「第11回レディースの集い開催について」
- 11. 13 東洋レディースin静岡の集い
例年クーポールで行っていた集いを浜松市で開催
- 11. 27 静岡県支部役員会(クーポール) 代表出席
- 12. 30 富士山女子駅伝応援・取材
- 29. 1. 29 女性連絡会主催講演会(甫水会館) 代表出席
- 2. 7 レディース役員会(磐田市 会員宅)
「レディース通信作成について」
- 2. 10 レディース通信作成(同上)
- 2. 13 同上
- 2. 16 通信印刷、発送準備(磐田 会員宅)



左より 谷口智子 川島洵子 落合雅子
鈴木伸子 塚本久美子 大澤友子

第11回 東洋レディースin静岡の集い

塚本久美子 (S. 39 英米文卒 静岡市)

11月13日の、ほんとに暖かな小春日和の日曜日、毎年恒例のレディースの集いが、初めて浜松で開催された。

参加者は6名だけだったが、暖かな秋の日を浴びて、浜松城公園を散策し、復元された天守閣を見学した。浜松城へは、初めて行ったが、野面積の石垣、ほのかに色づいた木の葉、可憐な黄色の花をつけた石落などが私達を迎えてくれた。若き時代の家康さん存命中のにほいが、あちらこちらに残っていて、歴史を感じたものである。ただ、その頃と今が変わっていないのは、今日のような澄みきった青い空と風の色ではなかろうか。そんなことに思いを馳せて、穏やかに歩を進め、久々に気持ちのいい時を過ごした。散策の後、ホテルコンコルドの18階の眺望のいい、中華料理のお店で、ランチをいただく。とてもおいしい食事だった。準備をして下さった西部地区のレディースの方々に感謝感謝!!

たった6人の参加者だったけれど、とても中味の濃いレディースの集いであった。

助成金が減額された「レディースの会」を更にしっかりしたものにするためには、どうするか。1年に1度だけの「レディースの集い」への出席率を高めるためには、どうしたらよいかを話し合った。親の介護、自身の健康、家族の健康状態、又自治会の行事等々でなかなか参加していただくことが難しい時もある。けれど、「レディースの集い」が楽しくて、女性ならではの穏やかさと優しさの有る集いであることは間違いない。「まだ参加したことのないレディ達、どうぞ一度はご参加下さい」と申し上げたい。次回は、今年秋に開催される予定。一人でも多くの参加を望むところである。

継続中!

大澤友子 (S. 47 国文卒 焼津市)

平成23年11月3日開催の第6回東洋レディースin静岡の集いにおいて、平田加代子さん (S. 44 短国語卒) 考案の体操が示され、平田さんのご指導の下、出席者で、一通りその体操をしたことがあります。「体を動かしていくために」という題の付いた体操で、手順は1から18までありました。

司会の塚本久美子さん (S. 39 英米文卒) が「皆、明日からこの体操を毎日やるようにしましょう」と提案なさいました。わたくしは内心、「これはエライことになった」と思っていました。わたくしは、毎日毎日きちんと何かをやるというのが大の苦手なのです。そして、次のレディースの集いで、「体操をやっていますか?」と聞かれた場合、「いいえ、やっていません」と答える自分を想像すると、自分自身が哀れな者に思えます。

そこで一念発起、「毎日体操をやってみる」ということにしたのでした。

最初の頃は、手順の書かれた印刷物を見ながらやっていましたが、そのうち見なくてもできるようにになりました。暗記は頭の体操です。ところが、その日に体操をやったかどうかを思い出せない、ということが起きてきました。不確かな日は、寝る前に念のために体操をしたのですが、これがイヤでたまりません。

そこで、1ヶ月分の日付を紙に書いて、体操したら即、その日の日付を赤マルで囲むという対策を講じました。月末には翌月分の日付を仕度しておきます。

こうやって、5年以上続けていくことができました。きつい動きがないのも幸いでした。

体操の実行ができたので、日付一覧表の活用は、「ピアノをならすこと」「数学の問題を解くこと」にも発展し、いずれも今のところ守れています。

体操考案者の平田加代子さん、「毎日やろう」というプレッシャーを与えてくださった塚本久美子さん、ありがとうございました。



お詫びと訂正

レディース通信第14号に誤植があり、誠に申し訳ありませんでした。下記のように訂正させていただきます。

1頁左最下行 天心→点心

今年度より、レディース通信、他文書作成担当は、

鈴木伸子 (S. 45 短英語卒 磐田市)

川島洵子 (S. 38 英米文卒 磐田市)

です。お気軽に原稿をお寄せ下さい。(代表宛)

E-mailの場合は川島洵子宛でお願いします。

k-h-j@ma.tnc.ne.jp